



サイバーサイエンスセンター
情報部情報基盤課

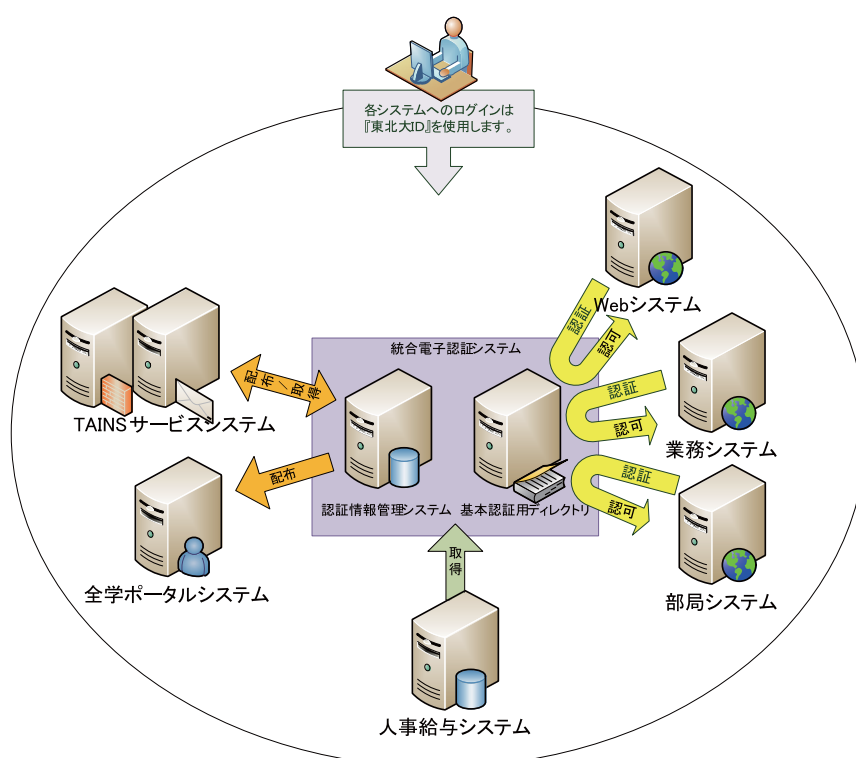
東北大学情報シナジー機構

TAINSニュース



東北大学情報シナジー機構 情報シナジー広報室 TAINS ニュース編集グループ

2010.3.15 No.38



統合電子認証システムのイメージ（計画中または検討中の連携システムを含む）

目次

お知らせ	2
統合電子認証システムが始まりました.....木下哲男, 伊藤清顕, 早川美徳, 寺澤篤史	3
TAINS の新しいメールサービスについて	5
編集後記	11

TAINS ニュースは、全教員および各研究室と事務等の各室に1部ずつ配布しています。職員・学生の皆さんにもご回覧ください。また、WWW で見る場合は <http://www.tains.tohoku.ac.jp/news/> をご指定ください。

お知らせ

リモートアクセスサービスの提供について

リモートアクセスサービス（PPTP、OpenVPN 及び SSL-VPN）の提供を開始しています。リモートアクセスサービスは、出張先や自宅等の学外から、学内にあるサーバやシステムにアクセスするためのサービスです。また、「どこでも TAINS」を利用する際の接続先としても使えます。本サービスは東北大学統合電子認証システムと連携しており、「東北大 ID」を持つ教職員が利用の対象となります。利用方法や注意事項を含め、詳細につきましては、学内向け TAINS ウェブページをご覧ください。

<https://www2.tains.tohoku.ac.jp/>

本件についての問い合わせ先 tains [AT] tains.tohoku.ac.jp
情報部情報基盤課ネットワーク係
サイバーサイエンスセンターネットワーク研究部

統合電子認証システムが始まりました

サイバーサイエンスセンター 木下哲男
情報シナジー機構 伊藤清顕
教育情報基盤センター 早川美徳
情報部情報推進課 寺澤篤史

1 統合電子認証システム

東北大学では、中期計画に掲げられた業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するため、事務等の効率化・合理化に取り組んでいます。さらに、東北大学アクションプラン「井上プラン 2007」に沿った、教育、研究、業務の多面的な見直しの中で、情報基盤の整備を全学的な規模で推進するため、「東北大学情報化推進アクションプラン」が策定されました。それらの具体的な施策のひとつとして、全学共通で利用出来る高いレベルのセキュリティを実現する認証システムの整備を進めています。その中心に位置づけられるのが統合電子認証システムです。

これまで学内で整備されてきた情報システムでは、それぞれに発行した ID / パスワードにより運用されてきたため、多くの情報システムを利用するユーザからは「ID / パスワードが覚えきれない」といった声が聞かれたり、「複数の ID / パスワードをメモしたものをパソコンに貼る」などの危険な行為も見られました。こうした問題を解消し、一つのユーザ ID により複数の情報システムを安心、安全に利用できる仕組みを整備することが、この統合電子認証システムの大きな目標です。

2 東北大 ID の配付

統合電子認証システムとその連携システムを利用するには、新しい ID が必要となります。これを「東北大 ID」と呼びます。この東北大 ID は、今後、TAINS メールサービスや全学ポータルシステム等で利用できるよう準備が進められており、その他の学内情報サービスについて順次利用範囲が拡大される予定です。

東北大 ID は、教職員及び学生等の東北大学構成員に段階的に配付されています。

統合電子認証システム及び東北大 ID についての最新情報は、情報シナジー機構の WEB サイト (<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/i-synergy/>) からご覧いただけます。

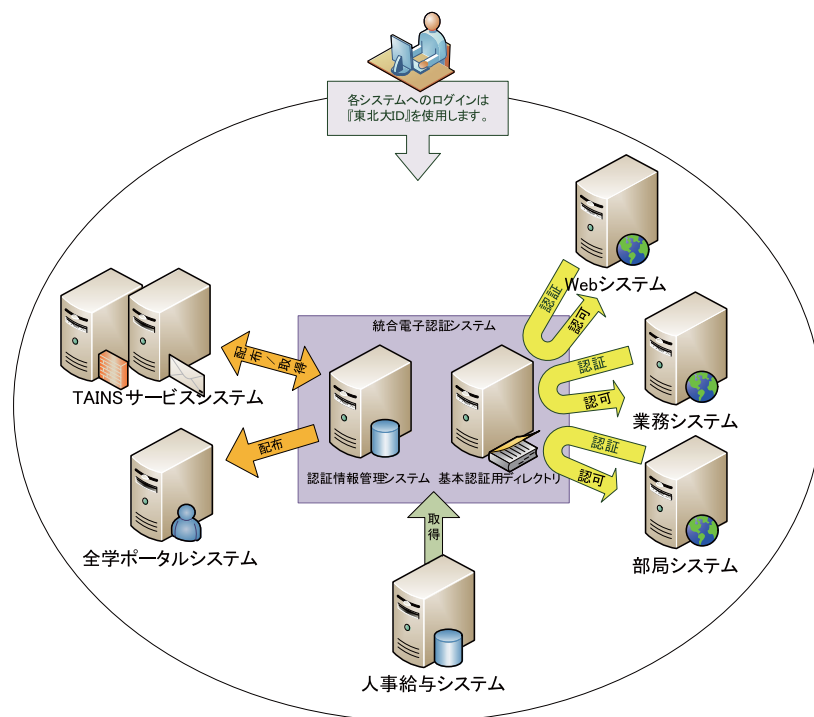


図 1: 統合電子認証システムのイメージ (計画中または検討中の連携システムを含む)

TAINS の新しいメールサービスについて

情報部情報基盤課ネットワーク係 澤田勝己

情報部情報基盤課ネットワーク係 森倫子

サイバーサイエンスセンター 水木敬明

1 はじめに

TAINS ニュース No.36 の記事 [1] 等により StarTAINS におけるネットワークサービスの計画をお知らせしていますが、その一つである TAINS の新しいメールサービス（以下「TAINS メール」と呼びます。）について、教職員の皆様へのサービス提供の準備が整いましたので、その内容をご紹介します。TAINS メールは、平成 20 年度より制度化された全学的基盤経費の一部である全学的情報化推進経費を財源として、情報シナジー機構（サイバーサイエンスセンター、情報部情報基盤課）が整備及び運用を行う電子メールサービスです。

以下本稿では、まず 2 節において TAINS メールの概要を述べます。次に 3 節において TAINS メールの利用開始のための申請手順を説明します。また、4 節において、従来よりサイバーサイエンスセンターが提供しているメールサービス mail.tains.tohoku.ac.jp 及び m.tains.tohoku.ac.jp の今後の予定についてお知らせします。

2 TAINS メールの概要

TAINS メールは、統合電子認証システム [2, 3] と連携して、統合電子認証システムのアカウント（以下「東北大 ID」と呼びます。）を持つ教職員がメールアドレスを取得し利用できる電子メールサービスです。以下の項目ごとに、TAINS メールのサービス概要について述べます。

2.1 利用資格

有効な東北大 ID を持っている教職員が TAINS メールの利用資格を有します¹。

2.2 申請方法

東北大 ID とそのパスワードを使って TAINS ウェブページからログインして申請します。申請の種類として、利用開始、メールパスワード変更、及び利用廃止の申請を行うことができます。利用開始の申請手順については 3 節でより詳しく説明します。

2.3 メールアドレス

「xxx [AT] m.tohoku.ac.jp」（xxx の部分は任意に指定可能²）のメールアドレスを取得できます。取得できるメールアドレスは 1 人につき 1 アドレスです。係や研究室としてのアドレスのような、複数人での共用はできません。

¹ただし、TA/RA 等は除きます。

²先願主義です。

2.4 メールパスワード

TAINS ウェブページからログインして利用開始の申請を行うときに、申請者がメールパスワードを設定します。メールクライアント（メーラー，メールソフトウェア）を利用してメールの送受信を行うときや，ウェブメールを利用するときに，このメールパスワードを使用します。

2.5 メールボックス

メールボックスの容量は 1 GB です。また，メールボックスの使用量がある一定の割合を超えるとメールで通知します。なお，利用廃止になるとメールボックスは削除されます。

2.6 ウェブメール

ウェブメールの仕様・機能の一部を以下に示します。

- HTTP over SSL のみで接続できます。
- 東北大 ID とメールパスワードを使ってログインします。
- メール送信時の送信者の情報（From フィールド）を 5 つまで登録でき，その都度変更できます。
- メール転送やメールフィルタを設定できます。

2.7 セキュリティ対策

以下のセキュリティ対策を行っています。

- スパム対策
 - － いわゆるグレイリスティング (Greylisting) を採用しています。すなわち，初めてメール配送を要求してきたメールサーバからの配送を一時的に拒否すると同時に，グレイリスト (Greylist) に登録します。そのメールサーバが一定時間経過した後に再配送を要求してきた場合にのみメール配送を受け入れます。そのようにして一度受け入れられたメールサーバは，一定期間ホワイトリストに登録されます。
 - － アンチスパムエンジンを有しています。このアンチスパムエンジンは，メールから計算されるシグネチャに基づいてデータベースと比較を行いスパムメールを判定します。スパムメールと判定されたメールには，X-SPAM-MARK というメールヘッダが挿入されます。
- ウイルス対策
 - － メール送受信時にウイルスの検出や駆除を行います。
 - － 駆除したことをメールで通知します。
- ユーザ認証と暗号化
 - － メールを送信する際には送信認証 (SMTP-AUTH) を必須とします。

- メールクライアントからの送信は SMTP over SSL のみとします。
- メールクライアントからの受信は POP over SSL あるいは IMAP over SSL のみとします。
- ウェブメールは HTTP over SSL のみとします。

2.8 メールクライアントの設定

メールクライアントの設定に必要な情報を表 1, 2 及び 3 に示します。

2.8.1 ユーザ認証情報

ユーザを認証するための情報には, 表 1 のとおり東北大 ID とメールパスワードを使います。東北大 ID のパスワードではないことに注意して下さい。

ID	東北大 ID
パスワード	メールパスワード

表 1: ユーザ認証情報

メール受信 (POP あるいは IMAP) のときのみならず, 送信 (SMTP) のときにもこのユーザ認証情報を使います。したがって, メールクライアントにおける送信のための設定では, 送信認証 (SMTP-AUTH) を有効にして下さい。

2.8.2 接続先メールサーバの情報

接続先メールサーバの情報は, 表 2 のとおりです。

送信サーバ (SMTP)		smtp.m.tohoku.ac.jp
受信サーバ	POP	pop.m.tohoku.ac.jp
	IMAP	imap.m.tohoku.ac.jp

表 2: 接続先メールサーバの情報

2.8.3 ポート番号と暗号化

メールの送受信のために必要な, メールサーバのポート番号と暗号化の情報は, 表 3 のとおりです。本サービスでは, POP3S (POP3 over SSL) と IMAPS (IMAP4 over SSL) の Well Known ポート, 及び SMTPS (SMTP over SSL) によく利用される 465/tcp ポートにおいて SSL の暗号化で通信を行います。平文通信でメールの送受信を行うことはできません。

		TCP ポート番号	暗号化	方式
送信 (SMTP)		465	あり	SSL
受信	POP	995	あり	SSL
	IMAP	993	あり	SSL

表 3: ポート番号と暗号化

2.9 利用廃止

利用廃止を申請するとメールボックスは削除されます。したがって、利用廃止の申請を行う場合、前もって必要なメールの受信を行なうようにお願いします。一定の期間、転送設定を行うこともできます。

また、東北大 ID が無効になると自動的に利用が廃止されますので、ご注意下さい。

3 利用開始の申請手順

2.2 節で説明した申請のうち、ここでは利用開始の申請手順について図を用いて説明します。

1. ウェブブラウザで

<https://www2.tains.tohoku.ac.jp/>

にアクセスし、学内向け TAINS トップページを開きます。

- 学内向け TAINS トップページの左側にあるメニューの中から、「TAINS メール」という項目を探し、そこにある「サービス紹介」というリンクをクリックします（図 1 の赤枠部分）³。

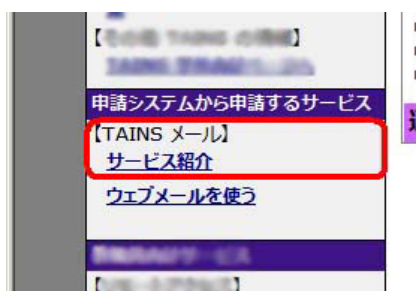


図 1: 学内向け TAINS トップページのメニュー（一部）

- TAINS メールの紹介ページが表示されますので、目次の「申請」をクリックして、「申請」の項に移動し、「利用申請」をクリックします（図 2 の赤枠部分）。

³TAINS ウェブページのデザインやリンク名は変更になる場合があります。



図 2: TAINS メールの紹介ページ

4. ログインフォームが表示されますので、東北大 ID と東北大パスワードを入力し [ログイン] ボタンをクリックします（図 3 の赤枠部分）。

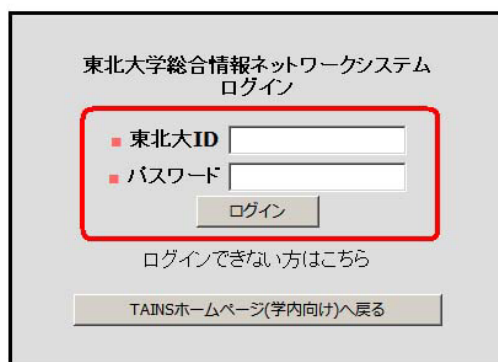


図 3: 利用開始の申請のためのログイン画面

5. 以後、画面の指示に従って利用開始の申請を行い、メールアドレスの取得とパスワードの設定を行って下さい。
6. 取得したメールアドレスがシステムに反映されるには若干の時間がかかります。メールクライアントの設定や、ウェブメールへのログインは、1 分程度待ってから行って下さい。

4 mail.tains.tohoku.ac.jp 及び m.tains.tohoku.ac.jp の今後

旧大型計算機センターや旧情報シナジーセンター時代に運用していた「mail.cc.tohoku.ac.jp」を起源として、サイバーサイエンスセンターが運用しているメールサービスが mail.tains.tohoku.ac.jp 及び

m.tains.tohoku.ac.jp（以下「m/mail.tains」と言います。）です。m/mail.tains は、部局においてメールサーバを設置できない、あるいは、メールアドレスを取得できない構成員向けに提供しており、長年にわたってご利用頂いています。

しかしながら、経年によるサーバの老朽化、スパム増大による高負荷等によって運用に支障をきたしています。また、運用にかかる費用等を総長裁量経費等の競争的資金やセンターの経費等から拠出しているため、サービスの継続性が不透明です。そこで、今回の TAINS メール運用開始を機に、いずれ m/mail.tains のサービスを終了する予定です。

サービスを終了した後も利用者が引き続きしばらくの間は、同じ m/mail.tains のメールアドレスを利用できるように、転送用のメールアドレス⁴として存続させる計画です。具体的な時期は未定ですが、その都度お知らせしますので、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

5 おわりに

TAINS メールに関する詳細な情報は、学内向け TAINS ウェブページに掲載しています。以下の URL から「TAINS メール」の「サービス紹介」をクリックしてご覧下さい。

- 学内向け TAINS ウェブページ: <https://www2.tains.tohoku.ac.jp/>

参考文献

- [1] 水木敬明, 曽根秀昭, “次世代 TAINS の概要紹介,” TAINS ニュース, No.36, pp.5–13, 2008.
(<http://www.tains.tohoku.ac.jp/news/news-36/0513.html>)
- [2] 木下哲男, 早川美徳, “全学的な統合認証システムの実現に向けて,” TAINS ニュース, No.36, pp.14–16, 2008.
(<http://www.tains.tohoku.ac.jp/news/news-36/1416.html>)
- [3] 木下哲男, 伊藤清顕, 早川美徳, 寺澤篤史, “統合電子認証システムが始まりました,” TAINS ニュース, No.38, pp.3–4, 2010.
(<http://www.tains.tohoku.ac.jp/news/news-38/0304.html>)

⁴転送先メールアドレスは TAINS メール以外のメールアドレスでも構いません。

編集後記

今回、TAINS ニュース編集グループへ新たに加わらせて頂きました(今号が参加後初の TAINS ニュースになります)。進化・成長を続ける TAINS の姿を、広く皆様に御理解頂くことが私の第一の務めと認識しております。TAINS ニュースを始めとした種々の媒体を通し、TAINS の現状を皆様にお伝えすべく努力したいと考えておりますので、今後とも宜しくお願い致します。

(B)

一利用者として、これまで TAINS を利用してきましたが、提供側の立場に立つと、色々と違う側面も見えてきて日々勉強の毎日です。

私が東北大で TAINS を利用し始めたのは、第一世代の TAINS88 時代でした。まだネットワークが一般的ではなく、業務でももっぱら電話と学内便が主流で、ネットワークトラフィックも ftp や gopher が主流でした。また、時折障害が発生してもそのうち直るだろうといった感じで牧歌的だったものです。

それが現在では、業務には欠かせない物となり、障害が発生しても迅速に復旧しなければならないなど、重要度が比べものにならないほど高くなりました。

今後、ネットワークがどのような進化をするかはわかりませんが、インフラとして重要度が下がることは無いと思います。利用者の皆様がこれまで以上に快適で満足できるサービスを提供できるよう、誠心誠意の気持ちを持って、最大限の努力をしていきたいと思います。

(770)

TAINS ニュース投稿案内

TAINS ニュースでは皆さんから投稿していただいた原稿についても積極的に掲載していこうと考えております。下記の注意事項に沿って、どしどし原稿をお寄せください。

- 術語以外は常用漢字を用い、新かなづかいを用いて「ですます体」でお書きください。表外字についてはふりがなを振らせていただく場合があります。句読点は「、」と「。」に統一させていただきます。
- 本文については原則として電子的に提出するものとします。

方法 1: tainsnews06 [AT] tains.tohoku.ac.jp あてに電子メールで投稿する。

方法 2: MS-DOS テキスト形式のファイルとして投稿する。この場合には、プリンタ出力も添えてください。この場合の原稿送付先は次の通りです。

〒 980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3

東北大学サイバーサイエンスセンター内
情報部情報基盤課ネットワーク係

TEL: 内線 (青葉山) 6253 / 022-795-6253

FAX: 内線 (青葉山) 6098 / 022-795-6098

手書きで投稿したい場合には、編集グループあてに事前にご相談ください。

- L^AT_EX 2_ε形式の原稿を歓迎します。クラスファイルは
<http://www.tains.tohoku.ac.jp/news/tainsnews.cls>
に置いてありますので、お手持ちの Web ブラウザにより取り出してください。
- 図は十分に精細で鮮明なものを提出してください。図についても PostScript や TIFF 形式で電子的に投稿していただくことを歓迎します。

投稿していただいた原稿は、情報シナジー機構情報シナジー広報室 TAINS ニュース編集グループで閲読のうえ採否を判断させていただきます。閲読の結果、編集グループが必要と認めた場合には、原稿の訂正や修正をお願いすることがあります。転載や図版の使用については、著作権者の承諾を得ておくようお願いいたします。また、投稿された原稿は原則として返却されないこと、TAINS ニュースが、東北大学の WWW サービスを通して電子的にも公開されることを、予めご了承ください。

TAINS ニュース 第 38 号

発行日 2010 年 (平成 22 年) 3 月 15 日

編 集 東北大学情報シナジー機構 情報シナジー広報室
TAINS ニュース編集グループ

曽根 秀昭, 水木 敬明, 後藤 英昭,
阿部 亨, 千葉 実, 森 倫子, 澤田 勝己,
北澤 秀倫, 七尾 晶士

発 行 東北大学情報シナジー機構

〒 980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3

(東北大学サイバーサイエンスセンター内)